

鹿南64名全国へ

県総体優勝

陸上 弓道 女子ハンド フェンシング

6月までの活躍

【陸上】(県総体) 男子総合優勝 〔4×400mリレー〕優勝 児玉(三の八)・福永(三の二)・松元(三の八)・藤崎(三の七)〔400m〕優勝 松元〔三段跳〕優勝 竹之内(三の八)〔棒高跳〕優勝 光(三の八)〔砲丸投〕優勝 〔ハンマー投〕優勝 小川(三の八)〔円盤投〕優勝 田中(三の二)〔やり投〕優勝 大久保(一の八)〔八種競技〕優勝 佐田(一の八) 女子〔やり投〕優勝 松本(二の二)〔南九州大会〕男子総合2位〔走幅跳・三段跳〕優勝 竹之内〔棒高跳〕優勝 光〔女子5000m競歩〕優勝 大脇(二の二)〔フェンシング〕(県総体)

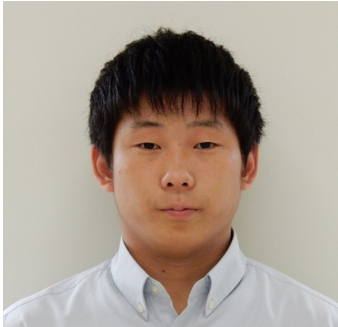
男子団体優勝 祐福(三の三)など 個人〔エペ〕優勝 齊脇(二の八)〔フルーレ〕優勝 福山(二の八)〔サーフル〕優勝 山本(二の八) 女子団体優勝 吉松(三の八)など 個人〔エペ〕〔フルーレ〕優勝 吉松〔サーフル〕優勝 有留(二の八)【弓道】(県総体) 男子団体優勝 霜出(三の二)など 〔男子個人〕優勝 永田(二の六) 女子団体6位 笠野(三の四)など 〔男子個人〕優勝 永田【女子ハンド】(県総体) 優勝 〔九州総体〕優勝 吉留(三の八)など【水球】〔全九州高校選手権〕優勝 永池(三の八)など【女子柔道】(県総体) 団体準優勝 邊木園(三の三)

【バドミントン】(県総体) 男子団体ベスト16 源川(三の二)など 女子団体3位 野村(三の六)など 〔女子ダブルス〕準優勝 下村(三の七)・渡(二の四)ペア ベスト16 副島(三の七)・永田(二の二)ペア【男子バスケット】(県総体) 3回戦 寺園(三の五)など【女子バスケット】(県総体) 1回戦 谷迫(三の五)など【水泳】(県総体) 〔800m自由形優勝〕400m自由形3位 伊藤(三の五) 〔50m自由形4位〕100m自由形2位 坂口(三の六)【サッカー】(県総体) 1回戦敗退 山下(三の七)など【卓球】(県総体) 団体ベスト16 是枝(三の四)など 〔ダブルス〕ベスト16 内園(二の二) 島袋(二の六)ペア

【男子ソフトテニス】(県総体) 団体1回戦 瀬戸口(三の二)など 〔ダブルス〕5位 濱上(三の六)・福森(三の八)ペア【女子ソフトテニス】(県総体) 団体ベスト4 赤島(三の八)など 〔ダブルス〕2位 徳永(三の八)・岩元(二の八)ペア 3位 赤島・池(三の八)ペア 4位 黒岩(三の五)・西(二の八)ペア

県高校総体がほぼ終了し、7月28日から中国地方6県で行われる「中国総体」に競技の舞台が移される。本校は、陸上競技部・弓道部・女子ハンドボール部・フェンシング部が団体で、男子ソフトテニス部・女子ソフトテニス部・バドミントン部・女子柔道部が個人で全国への切符を手に入れた。文化系でも放送部、簿記部が全国大会への出場を決めるなど快挙が続く。全国大会への出場者は、現在64名。「鹿南」の名がこの夏も全国に轟く。

県総体男子個人・団体優勝 ポジティブ思考が強さの秘訣 弓道部



君出身 樹山 中谷 永田 2年6組

今回の、県総体個人優勝を達成し、男子団体優勝に大きく貢献した弓道部の永田颯樹君(二一六)取材した。Q 男子個人で優勝した感想は？ A 今までの努力が実り、とにかく嬉しかった。たです。また、一週間くらい前に試合で、心をかけています。Q いつから弓道を始めたか？

立武道場で試し打ちをしたことにより、自分に自信がつかしました。Q 強さの秘訣を教えてください。 A 「自分ができる」とポジティブシンキングをしなから、一射一射引いています。また、試合と練習を区別せず、いつも通りのプレーを心がけています。Q いくつかから弓道を始めたか？

A 中学校に入學した時です。元々負けず嫌いな性格だったので、自分との闘いである弓道がぴったりと噛み合いました。Q 弓道をしていて心に残ったエピソードを教えてください。 A 去年の全国では雰囲気のできなかつたのがとても悔しかったです。Q 弓道の難しさはなんですか？ A 射形に癖がつくと、簡単に直せないと自分で癖がついてしまったら自分の射形をビデオで確認したにますます目が離せない。

陸上競技部

緊張感ある練習 全国級の強さ生む

近年活躍がめざましい陸上競技部。今回、キャプテンである竹之内優汰君(三一八)、長距離ブロックの田中洗成君(三一)に取材した。

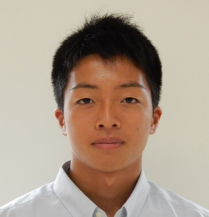


下園 伸一郎君 下園君は長距離(八百メートル)を専門としており、中学時代は野球部に所属していた。

陸上競技部は58人で活動しており、練習は主に本校のグラウンドで行っている。部内は、短距離、長距離、跳躍、投てきの4つのブロックに分かれていてそれぞれの専門を極めていく。練習では常に良い緊張感が漂い、それぞれが自分の競技に懸命に取り組んでいる。県総体では男子が総合二連覇を果たした。どのブロックも確実に強くなっており結果を出してきている。



田中 洗成君 田中君は投てきの円盤投げを専門としている。陸上競技との出会いは、小学六年生の時に父親の勧めで始めたソフトボール投げ。県南日本小学生大会では優勝した経験がある。



竹之内 優汰君 キャプテンの竹之内君は跳躍が専門。陸上との出会いは小学校一年生のときで、母の勧めで鹿屋体育大学のクラブチームに入団した。初めは短距離をしていたが、クラブの先生からの勧めで跳躍に切り替えた。試合や練習を重ねるうちに楽しいという気持ち芽生え、今に至る。大会では、



常に良い緊張感が漂う陸上競技部の練習風景。長洲剛の記念碑(後ろ)が後輩の活躍を見守る。

彼らからは陸上に対する熱い気持ちとやる気が伝わってきた。陸上競技部のさらなる活躍に期待したい。

